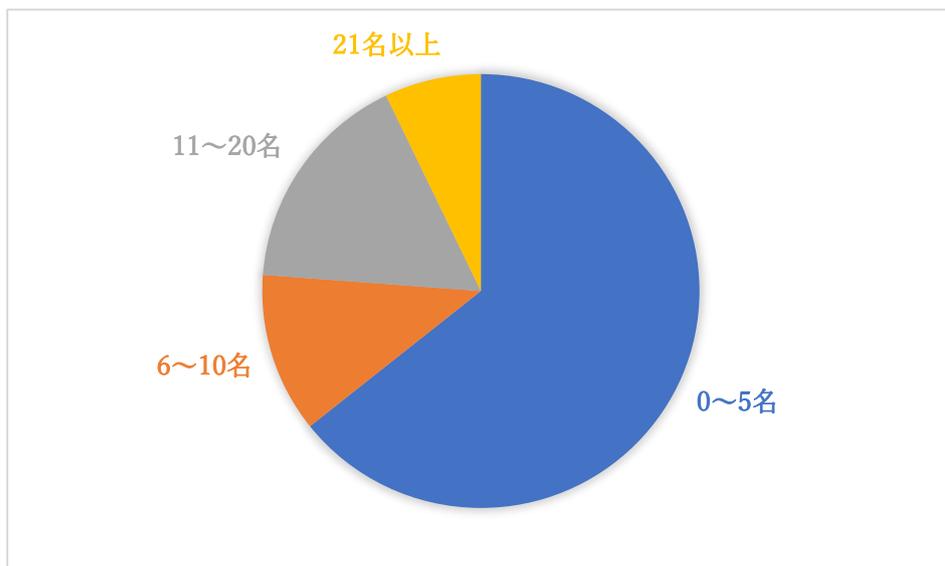


## 2024年度企業による卒業生評価アンケート集計結果

2024年8月に、本学の卒業生が多く勤務している企業を中心に、卒業生に対する評価アンケートを実施した。42社から回答を得ることができ、その結果を以下に報告する。

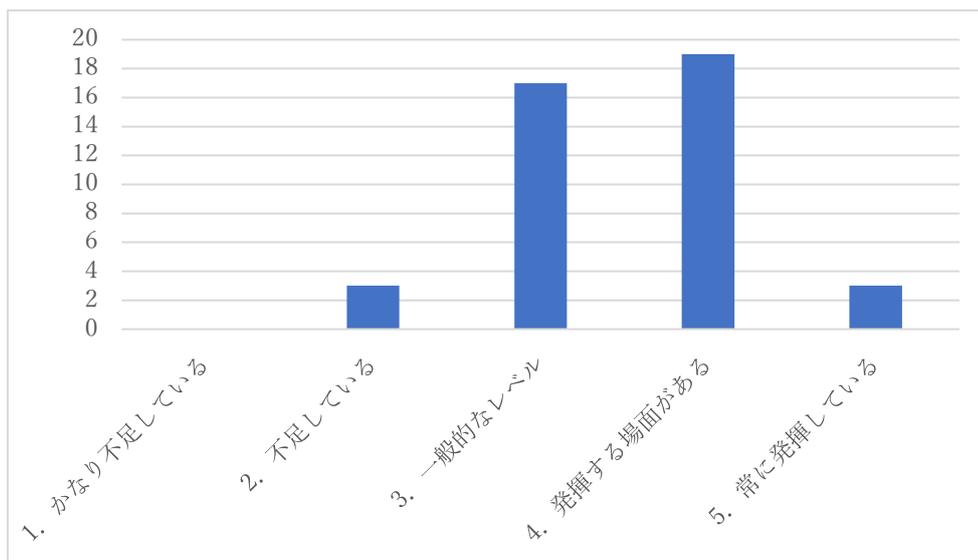
### 1, 埼玉女子短期大学出身の卒業生は何名在籍していますか



### 2, 貴社が求めているのはどのような資質を持つ人材ですか

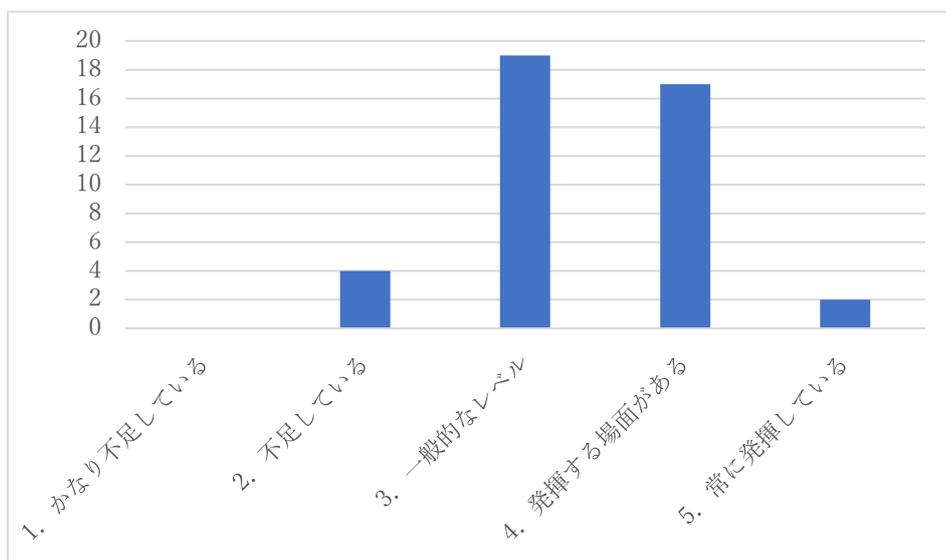
アンケートの結果から、企業が求める人材像として最も多く挙げられたのは「コミュニケーション能力」であった。職場内外を問わず円滑な人間関係を築き、チームで協力しながら成長していく姿勢を重視する傾向がうかがえる。また、明るさ・素直さ・前向きさといった人柄に関する資質も多くの企業が求めており、明るく元気に仕事へ取り組む姿勢や、誠実で思いやりのある対応ができることが重要視されていた。さらに、自発性・積極性・チャレンジ精神を求める声も多く、教えられたことに臆せず挑戦し、自ら考えて行動できる人材を評価する傾向がみられた。加えて、相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ精神や、困難に対しても前向きに取り組む柔軟性・粘り強さを挙げる企業も少なくなかった。一方で、将来的なリーダー候補として、協調性を持ちながらも主体的にチームをまとめる力を期待する意見も見られた。また、基本的なマナーや誠実な態度を持ち、長期的な視点で働く姿勢を重視する企業も存在した。総じて、企業が求めるのは、人間性を基盤とし、コミュニケーションを大切にしながら、自ら考え行動できる前向きな人材であることが明らかとなった。

### 3, 前に踏み出す力



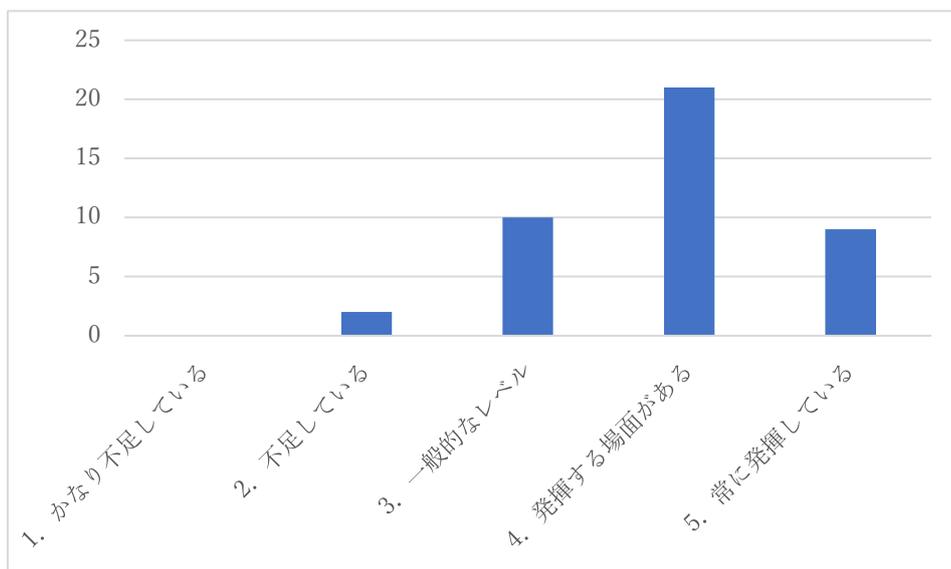
本学卒業生は与えられた仕事に対して実直に取り組み、研修や新しい業務にも前向きな姿勢で挑戦する傾向がみられる。「積極的に研修に参加している」「社内プロジェクトやコンテストにも参加している」「新しい取り組みにもまずはやってみようとする姿勢がある」といった評価が寄せられた。また、失敗を恐れず挑戦し、改善点を見つけて次に活かす粘り強さや、上司の指示を素直に受け止め行動する誠実さも評価されている。一方で、控えめで遠慮がちな面を指摘する声も少なくない。中には「受け身で積極性に欠ける」「自ら責任を負うことを避ける傾向がある」との意見もみられ、状況によっては自分から意見を発信したり、行動を起こしたりすることにためらいを感じるケースもあるようだ。ただし、企業側が機会や役割を与えることで、「やってみよう」と一歩を踏み出す力を発揮する卒業生も多く、きっかけや環境次第で大きく成長できる可能性がうかがえる。今後は、自ら課題を見つけて行動に移す主体性や、経験を自信へと変えていく力をさらに高めることが期待される。

### 4, 考え抜く力



本学卒業生は業務の改善や効率化に意識を向け、より良い方法を模索する姿勢が見られるとの評価が多く寄せられた。たとえば、商品の補充や店舗運営において工夫を重ねたり、顧客対応の中でお客様の希望を踏まえて最適な提案を行ったりするなど、現場の課題を自ら考え、実践につなげている事例が報告されている。また、企画書作成時に指示以上の情報を付加するなど、自分なりの考えを持ち、行動に反映させようとする力も確認された。一方で、課題として「受け身な傾向」や「考えを深めることへの苦手意識」を挙げる企業もあった。与えられた指示に忠実に取り組む姿勢は評価される一方で、原因の追究や課題解決に自ら踏み込む場面が少ないと指摘されている。さらに、経験の浅い段階では、マニュアルに頼った対応にとどまりがち傾向も指摘されたが、一方で、マニュアルを改良・作成するなどの能動的な取り組みを行う卒業生も見られ、経験の蓄積により考える力が実践的に発揮されていることも示唆されている。総じて、本学卒業生は誠実に与えられた仕事へ取り組みながら、工夫や改善を通して課題に向き合う姿勢を持つ一方、より主体的・論理的に考え抜く力を育てることが今後の成長課題であるといえる。

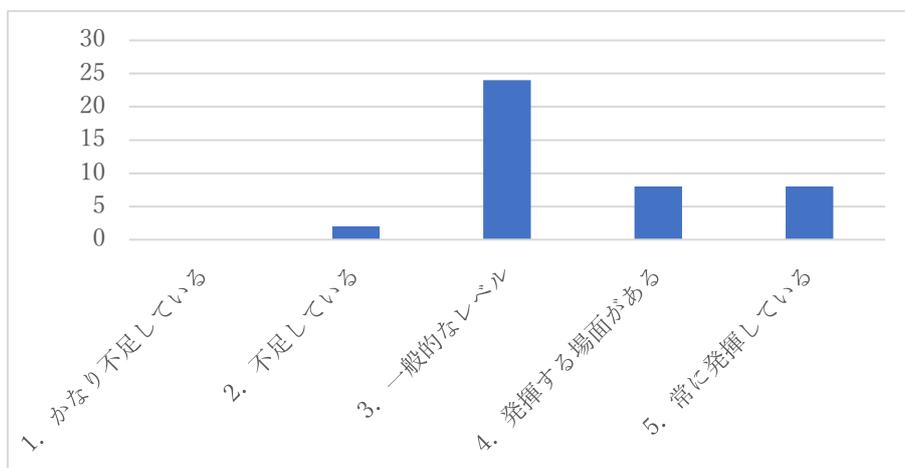
## 5. チームで働く力



本学卒業生は報告・連絡・相談を確実にやり、周囲と協力しながら業務を進める姿勢が定着しているとの評価が多く寄せられた。配属先では職場に円滑に馴染み、教えられたことを吸収しながらチームの一員として責任をもって働いている様子がうかがえる。また、「職場のムードづくりに貢献している」「積極的に話し合い、全員で成果を上げようとしている」といったコメントも多く、協調性が高く、周囲との関係づくりを大切にする資質が評価されている。さらに、他部署の職員とも連携しながら業務を行ったり、後輩の育成を担当するなど、自分の役割を超えてチーム全体の成果を意識する行動も見られる。日々の報連相や情報共有を欠かさず行き、「気付きボード」やチャットツールを活用して改善提案を出し合うなど、チーム全体での協働意識が高いことも特徴である。一方で、慎重さや遠慮から自分の判断で行動してしまう、あるいはチームより個人の都合を優先してしまう場面があるとの指摘もみられた。特に入社初期の段階では、上司や同僚に対して十分に意見を共有できず、自身を理解してもらう機会を逃してしまうケースもあるようである。総じて、本学卒業生は協調性や思いやりを基盤に、チームの一員として誠実に行動できる人材であるといえる。今後は、チーム内での自分の考えや立場をより明

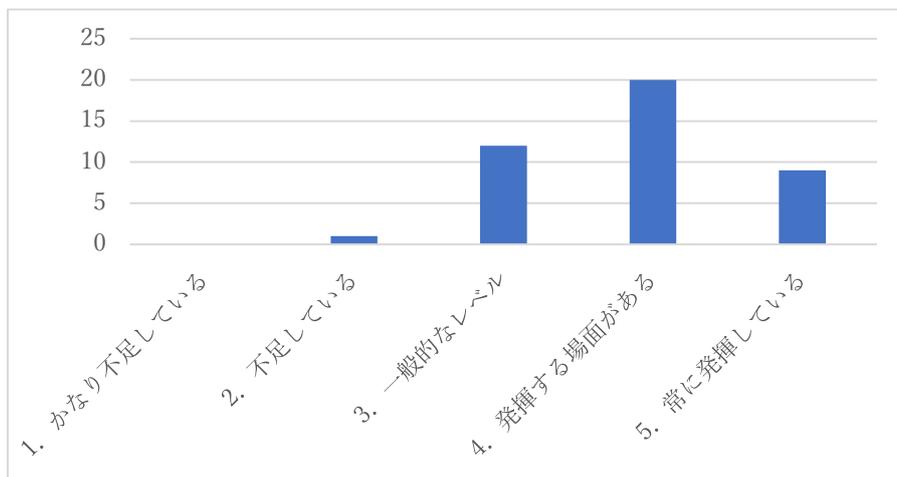
確に伝え、主体的に関わる姿勢を強化していくことで、さらに高いレベルのチームワークを発揮できることが期待される。

## 6, 一般常識



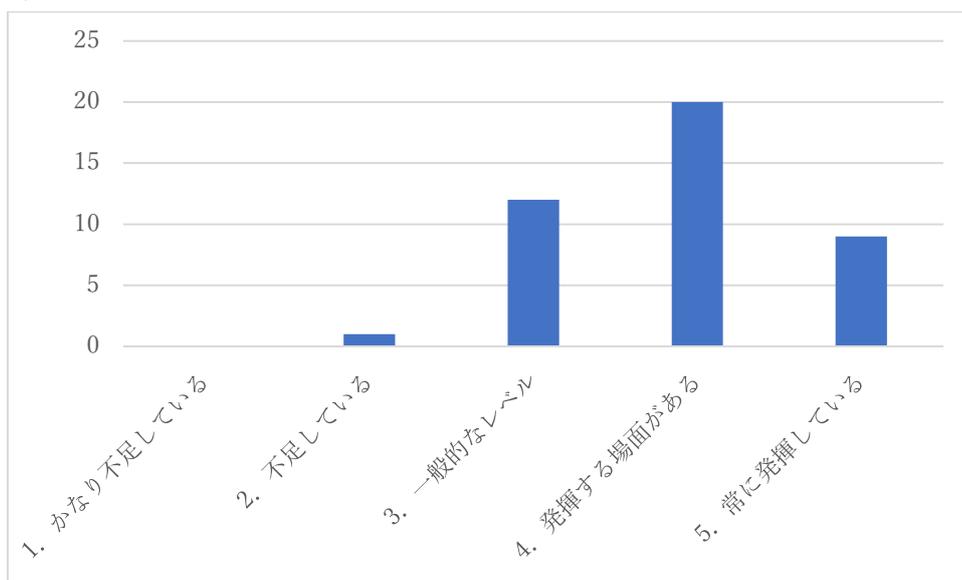
本学卒業生の一般常識については、概ね良好との評価が多く寄せられた。多くの企業からは、「受け答えが早く内容もしっかりしている」「礼儀・マナーが良い」「上司とのコミュニケーションや報告・連絡・相談ができていいる」など、社会人としての基本的な常識やマナーが身につけている点を評価する声が多く見られた。また、「ビジネスマナーや法令遵守の意識を持ち、お客様対応において支障がない」「学校で学んだ知識やホスピタリティが活かされている」といった意見もあり、学生時代の学びが実務に結びついている様子がうかがえる。一方で、一部の企業からは「時事的な話題や雑談時の会話力に差がある」「業務以外の事柄への関心がやや薄い」といった指摘もあった。社会経験の浅さから、会話の引き出しや幅広い視野に課題が見られるケースもあるようである。また、少数ではあるが「面接時と発言内容が異なる」「決められたことを守らない」など、一般常識から逸脱した行動がみられたとの報告もあった。総じて、本学卒業生は礼儀・マナーをはじめとする社会人としての基本的常識を備えており、業務遂行に支障のない水準にあると評価されている。しかし、今後はより幅広い知識や社会的関心を持ち、柔軟で主体的なコミュニケーション力を高めていくことが望まれる。

## 7, 礼儀・マナー



本学卒業生の礼儀・マナーについては、企業から非常に高い評価が寄せられている。多くの企業が「挨拶やお礼、気遣いができる」「お辞儀や言葉遣いが丁寧」「お礼のメールなどもきちんとしている」など、社会人としての基本的なマナーがしっかり身につけている点を評価している。また、「初対面での対応が良い」「明るく挨拶ができ、改善意欲もある」「接客や来客対応にも積極的に取り組んでいる」といった意見も多く見られ、実務の中でも良好な人間関係づくりや顧客対応に生かされていることがうかがえる。さらに、「他大学出身者と比較してマナーと協調性のスキルが高い」「新入社員研修で他の職員の手本となるような所作ができています」「SAIJO 出身はお辞儀がきれい」といったコメントもあり、本学の教育で重視しているホスピタリティやマナー指導の成果が実際の職場でも高く評価されていることが明確である。入社後もマナー関連資格の取得や自己研鑽に励む卒業生も多く、継続的な向上心がうかがえる。一方で、一部の企業からは「言葉遣いや所作に不十分な点がある」「声が小さい」「期日や規則を守らないなど、一部に課題が見られる学生がいた」との指摘もあった。これらはごく少数ではあるが、今後も入学から卒業まで一貫して社会人基礎力を高める指導の継続が重要といえる。総じて、本学卒業生は礼儀・マナーにおいて他校と比べても高い水準にあり、企業からの信頼が厚い。今後も引き続き、ホスピタリティ教育を中心とした実践的なマナー指導を行い、社会でより一層活躍できる人材の育成を目指したい。

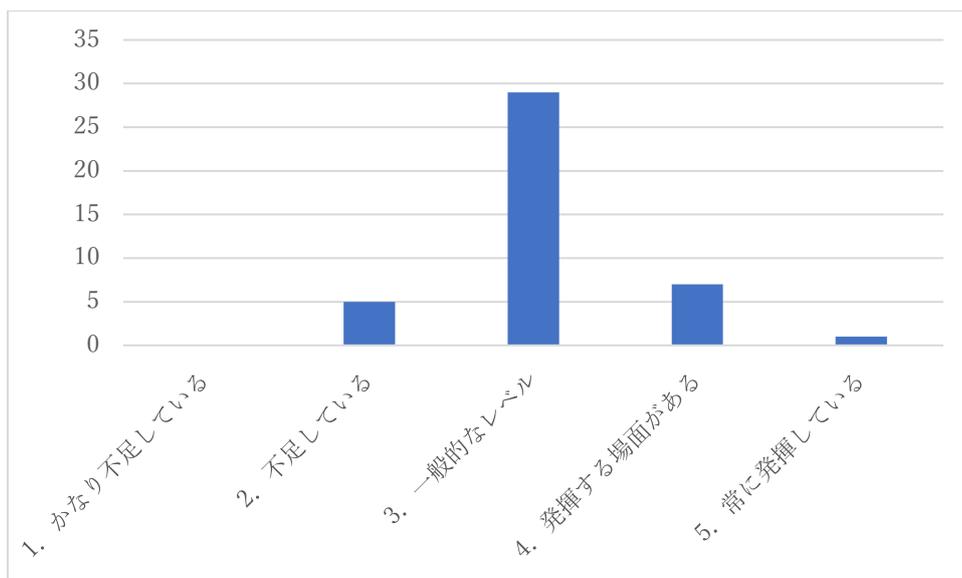
## 8. 職場への適応力



本学卒業生の職場への適応力については、全体として高い評価が寄せられている。多くの企業から「協調性・思いやりを持って接している」「真面目で誠実」「周囲とのコミュニケーションが円滑である」などの意見が挙げられ、社会人としての基本姿勢や協働性が十分に備わっていることがうかがえる。上司や同僚、お客様からも好感を持たれることが多く、「配属後も特に問題なく職場に溶け込んでいる」「全国どの店舗でも力を発揮している」など、環境への順応力の高さが評価されている。また、「様々な年代の社員とコミュニケーションが取れている」「新しい部署や異動先でも柔軟に対応できている」といったコメントも見られ、年齢や環境を問わず良好な人間関係を築ける点が強みといえる。さらに、「不明点や不安を指導員とのミーティングで確認し、納得して業務を習得している」「繁忙期の多

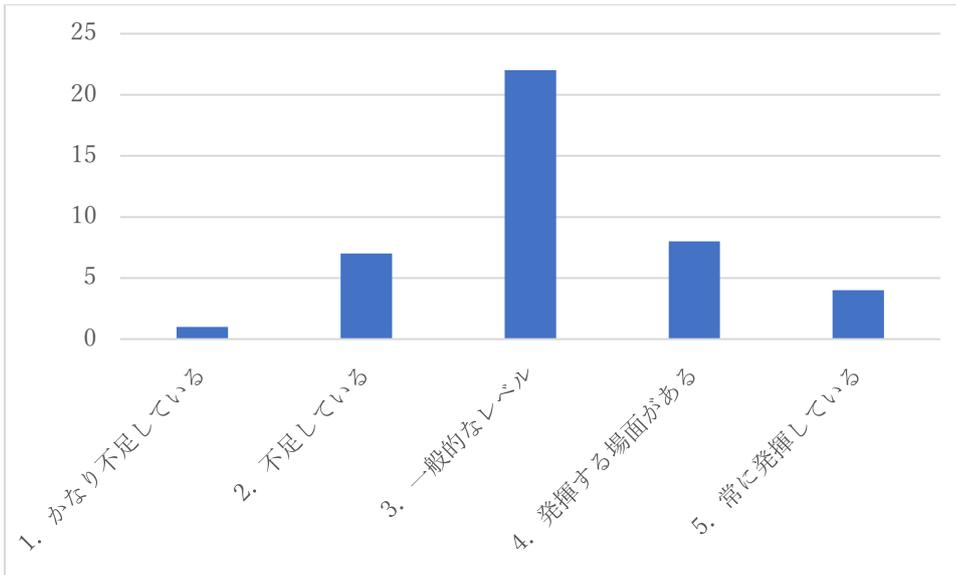
様な業務にも的確かつ迅速に対応している」など、適応力とともに学習意欲や責任感の高さもうかがわれる。一方で、「受け身な姿勢が見られる」「年上の社員に遠慮がち」「自己表現が得意でない」といった指摘も一部にあり、今後は自ら積極的に発言・行動する姿勢をより強めることが課題として挙げられる。総じて、本学卒業生は協調性を基盤とした柔軟な対応力を備え、職場環境にスムーズに適応している。今後は、主体的な発信力やリーダーシップを磨くことで、さらに高いレベルでの活躍が期待される。

## 9, 専門知識等



本学卒業生の専門知識については、業種や職種によって求められる内容が大きく異なるものの、総じて前向きな評価が多く寄せられた。多くの企業では、入社後に改めて専門的知識や実務スキルを学ぶ体制が整えられており、「入社時点での知識は重視していない」「基礎的な理解があれば十分」とする声が多く聞かれた。その一方で、「学校で学んだ内容をスムーズに吸収できている」「新しいことを確実に身につけ、自分の知識として活用している」といった、学習姿勢や吸収力を高く評価する意見も見られた。また、「医療事務知識を身につけている」「ファッションやホスピタリティの基礎が活かされている」など、学内での学びが現場で役立っている事例も報告されている。特に、「知っていることを誇示せず、謙虚に学ぶ姿勢がある」「自ら勉強し、努力を重ねている」といったコメントからは、知識そのものよりも“学び続ける姿勢”が高く評価されていることがうかがえる。一方で、「専門知識を発揮できる場面が少ない」「知識・経験を積極的に深めようとしない」「臨機応変な実践には課題がある」などの指摘も一部に見られた。特に業界特有の専門性が高い分野では、入社後の継続的な学習や資格取得など、実務を通じた知識の定着が求められている。総じて、本学卒業生は基礎的な知識を有しつつ、何よりも学ぶ意欲や吸収力に優れていると評価されている。今後は、各自の専門領域への理解をさらに深め、知識を実践的に活かす力を養うことで、より高い専門性を発揮できる人材へと成長することが期待される。

## 10, リーダーシップ



卒業生のリーダーシップについては、勤務年数や職場環境によって評価が分かれる結果となった。多くの企業からは、「後輩指導やチーム内でのまとめ役として活躍している」「任命された際には責任感を持って取り組む」といった前向きな評価が寄せられた。また、OJT 担当者や店舗リーダー、研修講師などとして活躍している卒業生も複数名おり、「優しく店舗をまとめている」「現場の中心としてお客様とのコミュニケーションを積極的に行っている」といった声も見られた。一方で、「率先してリーダーを引き受ける積極性がやや乏しい」「人任せな傾向がある」「前に立って発言することに苦手意識を持つ方が多い」といった指摘も多くみられた。特に入社間もない若手社員の場合は、年上の同僚が多い環境や責任の重さから、リーダーシップを発揮しにくい状況にあるとの意見もあった。総じて、リーダーシップの発揮には個人差があるものの、後輩への指導やチーム内での協調的な行動を通じて、少しずつリーダーとしての自覚や発言力を高めている様子がうかがえる。今後は、能動的に周囲をけん引する経験を積むことで、さらにリーダーとしての成長が期待される。

## 11, 短期大学教育についての要望

### 【原文まま】

- ・インターン実習やアルバイトなど、幅広く体験しておいたほうが良いと思います。
- ・インバウンド対応が多くなってきている昨今、英語対応がほぼ必須になってきています。日常会話程度は身に付けておいた方がいいのかもしれませんが。
- ・いつもお気遣い頂き、大変感謝致しております。先生方のご指導により、他校卒の方と比べても明るく前向きに活躍してもらっています。
- ・一般情勢、ニュースなどの知識、関心を向けれると良いかもしれません。
- ・たくさんの仲間といろいろな話をしたりサークルなど通じてコミュニケーションをとれる人になってほしい。

- ・前述の通り、素直で従順で協調性が高くマナースキルも高い反面、積極性に乏しく指示待ち症候群の傾向が強いので、「自分から行動する」というスタンス、積極性を在学中から教えこんだ方が、就職活動でも有利に働きますし、社会に出てからも活躍の場が広がると思います。
- ・コミュニケーション能力を高めるカリキュラムがあるとより良いと思います。
- ・れる・られる等の言葉遣いや字体(丸字が多い)基本を教えていただけたらと存じます。講義の中でも座学だけでなく、グループワークやグループディスカッションをすることでチームでの役割や発言の仕方等を身に付けて欲しいと存じます。
- ・近年貴校のインターンシップ生を数名お受入れしておりますが、皆さん非常に礼儀正しく、学校でのホスピタリティに関する授業で学んだことがしっかり活かされているなど感じております。学生にとっては、それだけでも他学校の学生より一歩リードしていると自信を持って良い部分だと思います。
- ・全体的に前に出る姿勢、自己主張については必要かと思います
- ・学生時代と社会人では、自分の身の回りの環境が大きく変わることを意識できていない卒業生が稀にいます。特に長距離通勤(片道1時間以上)を学生時代にやっていたから社会人になっても続けられるだろうと考えている傾向がありますが、実際には難しい場合が多いのでその点は大学側からの働きかけで自覚を促して頂けると非常にありがたいです。
- ・『自信の考えに基づいて行動させるような体験(主体性)』が身につけている、または体験ができると良いかと思います。
  - ※できればグループではなく、個人で行えるような体験
  - ※グループだと他社に任せてしまい楽をしてしまう方が出てくる
- ・考えやアイデアを持っていても、具体的に形(企画案やプレゼン資料)にできる方はどの企業へ行かれても重宝されるのではないかと思います。
- ・専門的な知識は会社に入ってから身につけることができるので、一般的な教養や基礎学力の習得に力を入れらるとよいのではないかと思います。
- ・若い故、精神的に幼い方が近年多いと感じました。「社会人とは」という心積もりを身に付けて社会に出ると本人も社会生活が楽なのかもしれません。
- ・基本的なマナーは素晴らしいですが、いざ入社後、問題になるのはモラルや一般常識が多くを占めると思います。学ぶ姿勢や社会に馴染む努力など、していただいている方も多いですが、一部欠如している方もいらっしゃることも事実です。
- ・せっかく御校の良い印象で入社されて半数以上の方がご活躍いただいているにも関わらず、一部の方の自己中心的な考え方で会社側からの見え方も変わってしまいます。
- ・Office関連の知識(特にExcel)。Word、パワポよりExcel利用が社会に出ると多いため
- ・礼儀・身だしなみ・マナー、自分自身は仕事を通して何を達成したいのか等(自己理解)
- ・御校の学生さまは、礼儀正しく素直で何事にも前向きに、一生懸命に取り組める方が非常に多い印象でした。しかしながら今回、学校推薦者でもあるにも関わらず(私共の指導力不足もございですが)期日やルールを全く守ることが出来ない学生さまがいたことが非常に残念でした。学校生活においても、期日やルールを守るということについて、その必要性を身に付けていただけると有難く存じます。

- ・ビジネスメール作成や Excel スキル等
- ・メンタル面の強化。とにかく繊細な子が多く、メンタルを整えることに時間を要する。社会人とは給料が発生するので、甘やかす環境ではない。学生時代に優秀な生徒ほど、社会人になると適応できず「こんなはずではなかった」と落ち込む子が多い。
- ・コミュニケーション能力が低い子も多い。その強化をお願いしたい。
- ・要望ではありませんが、教授や教職員の方々、友人、外部（業者）との対話、問題定義などのコミュニケーションを積極的に行っていただきたいです。
- ・学生時代はとにかくいろいろなものにふれることが大事だったなと思います。ホテルに関していうと、アフタヌーンティーやランチにいたり、少し奮発して泊ってみたり企業研究はとても楽しいし、就職活動やその後も生きてくると思います。（就職したい企業と他の企業の違いを聞かれたときに他を知らないと説明はできないので）たくさん時間があるうちにいろいろなことにチャレンジしてください！
- ・コミュニケーション力を身につけることは大切なことだと考えている。
- ・御校だけではなく全体ですが、最近入社された方の傾向としては、マニュアル通りの業務は的確にこなす事ができていますが、イレギュラーな対応が少し苦手な気がします。ディスカッションやワークショップ型の取り組みなどで、自主的に発言や行動、自分の考えが持てるようになっていくことができるようになるとより良いと思います。

以上